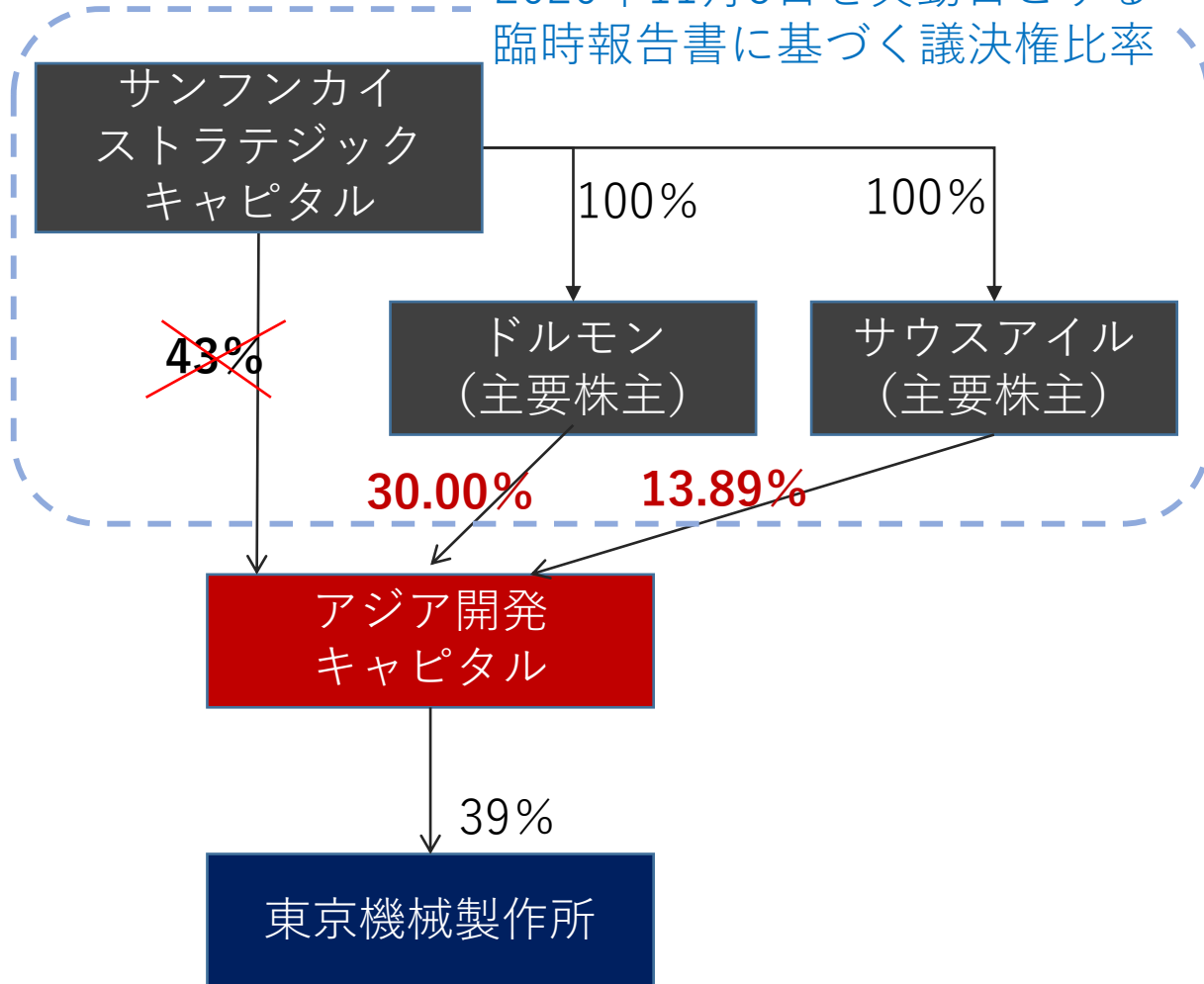


アジア開発キャピタルの株主構造の不透明性 ～支配株主が行方不明の上場会社～

2020年11月5日を異動日とする
臨時報告書に基づく議決権比率



- AIFらの回答書によれば、アジア開発キャピタルにおいて、主要株主の異動は2020年11月5日を最後に発生していない

(※主要株主：総株主等の議決権の10%以上を実質的に保有している株主をいう)

- そうであれば、ドルモン、サウスアイルは、現在も議決権10%以上を有する主要株主であるということになる

- ところが、その後の変更報告書においては、ドルモンもサウスアイルも共同保有者から外れ、単独での大量保有報告書も提出されず、サンファンカイ全体での持分も5%を割り込み、左図青枠の持ち分すべてが行方不明となっている

- 更に、AIFらはアジア開発キャピタルについて、「特定の株主の影響を受けていない」「最高意思決定機関は取締役会」という趣旨を回答。

- アジア開発キャピタルは、もはや、何者によって経営を支配されているかが一切不明